

2022年5月29日 主日礼拝

司 会
祈 禱
奏 楽

賛 美

聖歌711番「ほむべきかな」
(主はすばらしい・God is so good!) (手を高くさしのべ)

十 戒

聖 書

①② ルカによる福音書1章5～14節 (P82)
③ 使徒行伝1章1～8節 (P180)

音 楽

小坂忠先生(V)

メッセージ

①② 「喜びと楽しみが伴う人生」 小林詩音副牧師
③ 「聖霊に禁じられて」 大川従道主任牧師

賛 美
頌 栄
祝 禱

「それ神はその一人子を」(聖歌700番)・(ああ感謝せん) 献金
「父、み子、み霊の」(聖383番) アーメン

「彼らにお命じになった、『エルサレムから離れないで、
かねてわたしから聞いていた父の約束を待っているがよい。』」
(使徒行伝一の四)

【大和ニュース】

☆2千年前の今週は、「10日間連続祈禱会」で、超不思議が起こった！

- ・ 本日、役員会(12:30)、J.PLUS:学生会・青年会(14時・森)、中高生会(14時半)、プレミアムミーティング(16時)。第4礼拝(18:00)説教:熊谷師。
- ・ 今週も祈禱会を大切に！①水曜19時②木曜10時半。説教は坪井師、証詞は近藤兄。
- ・ 断食祈禱日は、今週の3日(金)9時～15時。部分参加可。6人の説教者。
ペンテコステ前の待望祈禱会となるでしょう。祈り備えましょう。
- ・ 土曜は、会堂掃除(12時・泉)、聖歌隊(13時半・泉)。
- * 主日礼拝人数 ①98人(282) ②185人(236) ③224人(356) ④22人=1403人
定例祈禱会 水曜65人(188)・木曜118人(90)=461人 ※()内はYouTubeのライブ人数

石の枕

司馬遼太郎『街道をゆく』シリーズの『オホーツク街道』に、英国聖公会の宣教師ジョン・バチエラ師にふれている文章があります。(渡辺正男牧師述)

バチエラの「後半生は、別人のようになった。アイヌを愛し、アイヌの父と言われた」。バチエラは、香港で体調を崩して行き詰まり、道を変えて日本に来たのでした。そして、函館でアイヌの人に出会い、それからの60年、アイヌの人たちに仕える人生を生きたのです。

私たちの歩みにも、懸命に励んでも行き詰まる。やむなく道を変える、そして思わぬ世界が開ける——そういうことがあるでしょうか。

私は(渡辺牧師)、青森市郊外の雪深い里の伝道所に仕えている時、中心的な会員が次々と亡くなるがありました。信仰をまっとうしたのですから、感謝すべきことなのですが、しかし伝道所としては、重苦しい空気に包まれました。少数の伝道所が一層小さくなる。皆の気持ちが萎(な)えてしまい、私も逃げ出したい思いになりました。

そんな時に、「聖霊から禁じられた」(使徒行伝16の6)のみ言葉に出会いました。そして、この行き詰まりは「聖霊から禁じられた」のだ、つまり、なお聖霊の御手の内にある。見放されたのではない。今も主の計らいの内にある。そういう励ましのみ言葉として受け止めたのです。

その後、伝道所は聖霊の風が吹いたのでしょう、不思議と元気を与えられ、新たな会員も加わり、「伝道所」から「教会」に発展しました。

パウロの伝道の働きが進展せず、尻つぼみのようになり、「行き詰まりの象徴」のようなトロアスで、思いがけずマケドニア伝道の幻を見、新たにヨーロッパ伝道の道が開かれたのですね。

私大川も、40歳のころ、この教会を離れ、学生伝道に身を献げて、本部のあった名古屋に移住することを決めたことがありました。しかし、「聖霊がこれを許さず」(使16の7)、この群の牧者としてお従いすることに決めました。

この教会で50年、不思議と奇跡でいっぱい。今は、主の祝福を日本中の苦闘している教会を訪ねて、お分かちしたいと願っている。お祈り下さい。

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう！
Aコース:ヨハネ11章～14章 Bコース:歴代上26章～歴代下16章